

2021年度 文学部 学士入学試験

教育学専攻

小論文 問題用紙

問題

あなたが最も関心を持っている教育問題を一つあげ、それについて、それに関心を持った経緯、問題の概要、および教育学の観点からみた課題について述べなさい。

※学士編入学試験の過去問題は、直近の過去1年分のみ公開しております。

また、その年に志願者がいた専攻のみ作成しておりますので、ご希望の専攻の過去問題がない場合もございます。あらかじめご了承ください。

2021年度 文学部学士入学試験
外国語（英語） 問題用紙

I. 次の英文を日本語に訳しなさい。

The language of words lends itself to generalization and abstraction. In themselves, words such as “man” or “house” do not suggest a particular man or a particular house but men and houses in general, and more abstract terms such as “love” or “dishonesty” have even less-precise associations with specific things. Films, on the other hand, show only particular things—a particular man or a particular house. In this way a film image may be less ambiguous than the language of words but also less evocative, less likely to be enriched by imagination, association, or recollection. Despite its particularity, however, the film image may also be ambiguous in that it shows but does not explain. It does not in itself tell what it means, and people instinctively search for meanings in images.

出典: Essential Characteristics Of Film. Adapted with permission from Encyclopaedia Britannica (c) 2020 by Encyclopaedia Britannica, Inc.

II. 次の日本語を英語に訳しなさい。

私たちの毎日の生活にことばは欠かせない。人に何かを伝える時はもちろん、一人で考え事をするときも、頭の中には、ことばがあふれている。ことばをあやつるには、ある程度、単語を知らないと、どうすることもできないが、あらためて考えてみると、単語の知識=ことばの知識というわけではない。少し難しい英語の読解問題などで、単語は全部、辞書で調べたのに、意味がわからない、という経験はないだろうか。それぞれの単語の意味がわかっているつもりでも、その単語をどう組み合わせるかで理解していけばいいのかがわからないと、使いものにはならない。

(上山あゆみ「統語論とは何か」窪菌晴夫(編著)『よくわかる言語学』
ミネルヴァ書房(一部改変))